

**多治見市特定空家等判断チェックシート**  
(そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れのある状態)

調査日 年 月 日

空家等所在地 町 丁目 番地

調査員氏名 課 (氏名) / 課 (氏名)

建物用途 ☐ 戸建住宅 ☐ 長屋住宅 ☐ 共同住宅 ☐ 併用住宅 ☐ 店舗  
☐ 事務所 ☐ 工場 ☐ 倉庫 ☐ その他 ( )  
 構造種別 ☐ 木造 ☐ 鉄骨造 ☐ 鉄筋コンクリート造  
☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☐ ブロック造 ☐ その他 ( )  
 階数 ☐ 平屋 ☐ 2階建 ☐ 3階建 ☐ その他 ( )

## 1 周辺への悪影響

## (1) 周辺の利用状況

- ☐ 一次的な利用（ジョギング、サイクリング等で使用される道路等）  
☐ 間欠的な利用（日中に限り使用する駐車場等）  
☐ 頻繁な利用（常用の倉庫、生活道路等）  
☐ 恒常的な利用（民家、店舗等、通学路、幹線道路等）

## (2) 具体的な悪影響（周辺住民への聴取等）

建物から隣接地までの距離 m cm

## 2 「そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れのある状態」の判断

			方法	✓欄	判断	
ア	著しい傾斜	基礎に不同沈下があり、建物が変形、損傷している	目視		<input type="checkbox"/> 該当	当 す べ て に ば 該 当 ま れ
		柱に1/20超の傾斜がある（2階以上の階のみの傾斜も同じ）	下げ 振り			
イ	基礎・土台	多数のひび割れ（概ね10か所以上）、または大きなひび割れ（概ね2mm以上）が生じている	クラック スケール		<input type="checkbox"/> 該当	当 て は ま れ ば 該 当
		土台が基礎幅からはみ出すほどのずれ、脱落又は遊離（浮き）が発生している	目視			
		基礎・土台に著しく破損、腐朽、蟻害、腐食等が発生している又は緊結金物（アンカーボルト類）に著しい腐食が見られる	目視			
ウ	柱・はり・筋かい	部材を分断する恐れがあるほどの著しい破損、腐朽、蟻害、腐食等が発生している若しくは分断している又は柱とはりにずれが多数発生している	目視		<input type="checkbox"/> 該当	
エ	屋根ふき材・ひさし・軒	屋根が著しく変形している又は屋根が破損し崩落している	目視		<input type="checkbox"/> 該当	
オ	外壁	壁体を貫通する穴が生じている	目視		<input type="checkbox"/> 該当	当 す べ て に ば 該 当 ま れ
		外壁の仕上げ材が剥離、腐朽又は破損し、下地が露出している	目視			
カ	看板・給湯設備・アンテナ・室外機	脱落の恐れがあるほどの著しい傾斜、破損、腐朽、蟻害、腐食等又は転倒、脱落している	目視		<input type="checkbox"/> 該当	
キ	屋外階段・バルコニー	脱落の恐れがあるほどの著しい傾斜、破損、腐朽、蟻害、腐食等又は脱落している	目視		<input type="checkbox"/> 該当	
ク	門・塀	倒壊の恐れがあるほどの著しい傾斜している、破損（多数のひび割れ（概ね10か所以上）、または大きなひび割れ（概ね2mm以上）を含む）、腐朽、蟻害、腐食等又は構造部材同士のずれがある	クラック スケール		<input type="checkbox"/> 該当	
ケ	擁壁	『宅地擁壁の健全度判定・予防保全対策マニュアル（令和4年4月国土交通省）』で、9.0点以上である。	目視		<input type="checkbox"/> 該当	

※ 「目視」は、建物外からの目視をいう。

備考

2については、該当と判断した項目がいずれか1つでもある場合、「そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れのある状態」と判断する。

特定空家等には、1 周辺への悪影響を十分に踏まえ認定する。

特定空家等

認定／不認定

## 多治見市 特定空家等判断チェックシート

物件No ( )

調査日: 年 月 日 午前・午後 時 分

空家等所在地: 町 丁目 番地

調査員氏名: (所属: ), (所属: )

建物等用途: 1. 戸建住宅 2. 長屋住宅 3. 共同住宅 4. 併用住宅 5. 店舗 6. 事務所  
7. 工場 8. 倉庫 9. その他( )構造種別: 1. 木造 2. 鉄骨造 3. 鉄筋コンクリート造 4. 鉄骨鉄筋コンクリート造  
5. ブロック造 6. その他( )

階数: 1. 平屋 2. 2階建 3. 3階建 4. その他( )

## 1. 周辺調査

倒壊・脱落・飛散した際に人的被害が及ぶおそれがある隣接地

判断

- (1)
- ☐
- 住宅
- ☐
- 非住宅 (具体的に )
- ☐
- 公道
- ☐
- 私道
- ☐
- 空地
- ☐
- 農地
- ☐
- 山林
- 
- ☐
- その他 (具体的に )
- 
- (2) 建物から隣接地までの距離( m cm)

☐ 該当

## 2. 外観調査

		項目	調査項目	判断基準	方法	チェック欄	判断
保安上危険(危ない)	倒壊の恐れがあるか	(イ) 著しい傾斜	基礎の不同沈下	基礎に不同沈下があり、建物が変形、損傷している	目視		<input type="checkbox"/>
			柱の傾斜	柱に1/20超の傾斜がある(2階以上の階のみの傾斜も同じ)	下げ振り		<input type="checkbox"/> 該当
		(ロ) 基礎・土台の損傷	基礎	基礎に多数のひび割れ(おおむね10か所以上)、または大きなひび割れ(おおむね2mm以上)が生じている	クラックスケール		<input type="checkbox"/>
			基礎と土台のずれ	土台が基礎幅からはみ出す程のずれ、脱落または遊離(浮き)が発生している	目視		
			土台	土台となる木材が腐食し著しい腐食、損傷もしくは蟻害が発生している、または緊結金物(アンカーボルト類)に著しい腐食が発生している	目視		
		(ハ) 柱・はり・筋かいの損傷	柱・はり・筋かい	部材を分断する亀裂・変形・破損がある、または柱とはりによれが多数発生している	クラックスケール		<input type="checkbox"/> 該当
	脱落・飛散等の恐れがあるか	(ニ) 屋根ふき材・ひさし・軒	屋根不陸	屋根が著しく変形している	目視		<input type="checkbox"/>
			屋根ふき材	屋根瓦のずれなどにより、屋根ふき材の一部が剥落している	目視		
			軒状態	軒の裏板、垂木等が腐朽している	目視		
			雨どい状態 ※無い場合は省く	雨どいが垂れ下がりまたは落下している	目視		
		(ホ) 外壁	外壁貫通	壁体を貫通する穴が生じている	目視		<input type="checkbox"/>
			外装材	外壁のモルタルやタイル等の外装材に浮きが生じている	目視		
			下地	外壁の仕上げ材が剥離、腐朽または破損し、下地が露出している	目視		
		(ヘ) 看板・給湯設備・アンテナ・室外機	据付状態	転倒、脱落または傾斜している	目視		<input type="checkbox"/>
			支持部分接合状態	支持部分が腐食または破断している	目視		
		(ト) 屋外階段・パルコニー	据付状態	腐食、破損または脱落している	目視		<input type="checkbox"/>
			支持部分接合状態	支持部分が腐食または破断している	目視		
		(チ) 門・塀	建付状態	傾斜している	目視		<input type="checkbox"/>
			損傷	多数のひび割れ(おおむね10か所以上)、大きなひび割れ(おおむね2mm以上)、変形、破損が発生している	クラックスケール		
	擁壁	(リ) 擁壁	老朽化	国土交通省『宅地擁壁老朽化判定マニュアル(案)』で5点以上である	目視		<input type="checkbox"/> 該当

【備考】

## 総合判断

1. (イ)～(リ)の項目ごとに記載している調査項目のすべての該当する場合、それぞれの項目に該当と判断する。
- 
2. 該当と判断した項目がいずれか1つでもある場合、特定空家等と認定する。

☐ 認定する ☐ 認定しない

# 多治見市特定空家等判断チェックシート

(そのまま放置すれば著しく衛生上有害となる恐れのある状態)

調査日 年 月 日

空家等所在地 町 丁目 番地

調査員氏名 課 (氏名) / 課 (氏名) /

建物用途 ☐ 戸建住宅 ☐ 長屋住宅 ☐ 共同住宅 ☐ 併用住宅 ☐ 店舗

☐ 事務所 ☐ 工場 ☐ 倉庫 ☐ その他 ( )

構造種別 ☐ 木造 ☐ 鉄骨造 ☐ 鉄筋コンクリート造

☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☐ ブロック造 ☐ その他 ( )

階数 ☐ 平屋 ☐ 2階建 ☐ 3階建 ☐ その他 ( )

## 1 周辺への悪影響

## (1) 周辺の利用状況

- ☐ 一次的な利用 (ジョギング、サイクリング等で使用される道路等)
- ☐ 間欠的な利用 (日中に限り使用する駐車場等)
- ☐ 頻繁な利用 (常用の倉庫、生活道路等)
- ☐ 恒常的な利用 (民家、店舗等、通学路、幹線道路等)

## (2) 具体的な悪影響 (周辺住民への聴取等)

建物から隣接地までの距離 m cm

## 2 「そのまま放置すれば著しく衛生上有害となる恐れのある状態」の判断

	判断基準	方法	✓欄	判断
ア	建物の屋根や天井、梁・柱、階段などに吹付石綿等が使用されている恐れがあり、石綿等が飛散する恐れがある。(アスベスト レベル1)	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
イ	建物に石綿含有成型板(屋根、壁、天井、床等)、石綿含有仕上材(塗材等)及び石綿等含有保温材等、石綿が使用されている可能性のある材料が使用されており、かつ、破損等によって飛散する恐れがある。(アスベスト レベル2、3)	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
ウ	清掃されていない浄化槽や便槽が放置されており、汚物の流出、臭気の発生がある。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
エ	排水等設備の破損により臭気の発生がある。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
オ	ごみ等の放置、不法投棄による臭気の発生がある。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
カ	ごみ等の放置、不法投棄により、多数のねずみ、はえ、蚊等が発生している。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当

※ 「目視」は、建物外からの目視をいう。

備考

2については、ア～カのいずれか1つでも該当すれば、「そのまま放置すれば著しく衛生上有害となる恐れのある状態」と判断する。

特定空家等には、1 周辺への悪影響を十分に踏まえ認定する。

特定空家等

認定／不認定

# 多治見市特定空家等判断チェックシート

(適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態)

調査日 年 月 日

空家等所在地 町 丁目 番地

調査員氏名 課 (氏名) / 課 (氏名) /

建物用途 ☐ 戸建住宅 ☐ 長屋住宅 ☐ 共同住宅 ☐ 併用住宅 ☐ 店舗

☐ 事務所 ☐ 工場 ☐ 倉庫 ☐ その他 ( )

構造種別 ☐ 木造 ☐ 鉄骨造 ☐ 鉄筋コンクリート造

☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☐ ブロック造 ☐ その他 ( )

階数 ☐ 平屋 ☐ 2階建 ☐ 3階建 ☐ その他 ( )

## 1 周辺への悪影響

## (1) 周辺の利用状況

- ☐ 一次的な利用 (ジョギング、サイクリング等で使用される道路等)
- ☐ 間欠的な利用 (日中に限り使用する駐車場等)
- ☐ 頻繁な利用 (常用の倉庫、生活道路等)
- ☐ 恒常的な利用 (民家、店舗等、通学路、幹線道路等)

## (2) 具体的な悪影響 (周辺住民への聴取等)

建物から隣接地までの距離 m cm

## 2 「適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態」の判断

	判断基準	方法	✓欄	判断
ア	多治見市風景づくり計画に定める建築物又は工作物の形態意匠等の制限に適合しない。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
イ	屋根、外壁等が、汚物や落書き等で外見上大きく傷んだり汚れたまま放置されている。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
ウ	多数の窓ガラスが割られたまま放置されている。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
エ	看板が原形をとどめず本来の用をなさない程度まで、破損、汚損したまま放置されている。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
オ	立木等が建築物の全面を覆う程度まで繁茂している。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
カ	敷地内にごみ等が著しく散乱、山積したまま放置されている。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当

※ 「目視」は、建物外からの目視をいう。

備考

2については、ア～カのいずれか1つでも該当すれば、「適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態」と判断する。

特定空家等には、1 周辺への悪影響を十分に踏まえ認定する。

特定空家等

認定／不認定

調査日 年 月 日

空家等所在地 町 丁目 番地

調査員氏名 課 (氏名) / 課 (氏名) /

建物用途 ☐ 戸建住宅 ☐ 長屋住宅 ☐ 共同住宅 ☐ 併用住宅 ☐ 店舗

☐ 事務所 ☐ 工場 ☐ 倉庫 ☐ その他 ( )

構造種別 ☐ 木造 ☐ 鉄骨造 ☐ 鉄筋コンクリート造

☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☐ ブロック造 ☐ その他 ( )

階数 ☐ 平屋 ☐ 2階建 ☐ 3階建 ☐ その他 ( )

## 1 周辺への悪影響

## (1) 周辺の利用状況

- ☐ 一次的な利用（ジョギング、サイクリング等で使用される道路等）
- ☐ 間欠的な利用（日中に限り使用する駐車場等）
- ☐ 頻繁な利用（常用の倉庫、生活道路等）
- ☐ 恒常的な利用（民家、店舗等、通学路、幹線道路等）

## (2) 具体的な悪影響（周辺住民への聴取等）

建物から隣接地までの距離 m cm

## 2 「その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態」の判断

	判断基準	方法	✓欄	判断
ア	立木が倒壊の恐れがあるほど著しい傾斜や腐朽が見られる又は枝折れが生じ隣接地に枝等が大量に散らばっている。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
イ	立木の枝等が隣接地にはみ出し、歩行者や車両の通行を妨げている。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
ウ	敷地内に動物の常態的な棲みつきが認められ、鳴き声その他の音が頻繁に発生している。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
エ	敷地内に動物の常態的な棲みつきが認められ、糞尿その他の汚物が放置されており、臭気が発生している。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
オ	敷地内に動物の常態的な棲みつきが認められ、敷地外にその動物の毛又は羽毛が大量に飛散している。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
カ	多数のねずみ、はえ、蚊、のみ等が発生している。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
キ	敷地内に動物の常態的な棲みつきが認められ、棲みついた動物が周辺の土地・家屋に侵入している。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
ク	白アリが大量に発生し、近隣の家屋に飛来している。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
ケ	門扉が施錠されていない、主に1階部分の窓ガラスが割れている等不特定の者が容易に侵入できる状態である。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当
コ	周辺の道路、家屋の敷地等に土砂が大量に流出している。	目視	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当

※ 「目視」は、建物外からの目視をいう。

備考

2については、ア～カのいずれか1つでも該当すれば、「その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態」と判断する。

特定空家等には、1 周辺への悪影響を十分に踏まえ認定する。

特定空家等

認定／不認定